

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)

【公開番号】特開 2002-207549 (P2002-207549A)
 【公開日】平成 14 年 7 月 26 日 (2002.7.26)
 【出願番号】特願 2001-328033 (P2001-328033)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

G 0 6 F 17/28 (2006.01)

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/00 6 5 4 A

G 0 6 F 17/28 Z

G 0 6 F 9/06 6 1 0 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 7 月 10 日 (2006.7.10)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

翻訳装置を、

アプリケーションプログラム毎かつ翻訳対象毎に設定された翻訳環境設定情報を共通のファイルに記憶する手段、

前記アプリケーションプログラムに表示されるダイアログ画面を通じてアプリケーションプログラム毎かつ翻訳対象毎の翻訳環境が指定されて、指定された翻訳環境を前記翻訳環境設定情報に設定する手段、

指定された前記翻訳環境設定情報を利用して翻訳を実行する手段、

として機能させるための翻訳プログラム。

【請求項 2】

前記翻訳装置を、前記翻訳環境としてデフォルト値が指定されて、指定されたデフォルト値を前記翻訳環境設定情報に設定する手段として更に機能させるための請求項 1 に記載の翻訳プログラム。

【請求項 3】

アプリケーションプログラム毎かつ翻訳対象毎に設定された翻訳環境設定情報を共通のファイルに記憶する手段と、

前記アプリケーションプログラムに表示されるダイアログ画面を通じてアプリケーションプログラム毎かつ翻訳対象毎の翻訳環境が指定されて、指定された翻訳環境を前記翻訳環境設定情報に設定する手段と、

指定された前記翻訳環境設定情報を利用して翻訳を実行する手段と、

を有する翻訳装置。

【請求項 4】

前記翻訳環境としてデフォルト値が指定されて、指定されたデフォルト値を前記翻訳環境設定情報に設定する手段を更に有する請求項 3 に記載の翻訳装置。

【請求項 5】

アプリケーションプログラム毎かつ翻訳対象毎に設定された翻訳環境設定情報を共通の

ファイルに記憶するステップと、

前記アプリケーションプログラムに表示されるダイアログ画面を通じてアプリケーションプログラム毎かつ翻訳対象毎の翻訳環境が指定されて、指定された翻訳環境を前記翻訳環境設定情報に設定するステップと、

指定された前記翻訳環境設定情報を利用して翻訳を実行するステップと、
を有する翻訳方法。

【請求項 6】

前記翻訳環境としてデフォルト値が指定されて、指定されたデフォルト値を前記翻訳環境設定情報に設定するステップを更に有する請求項 5 に記載の翻訳方法。